

ハ工場主ヲ訪問交渉スル所アリレガ工場側ニ於テ考
慮スベク回答アリ無事退出セリ
尚爭議團ニ於テハ本日夕刻ヨリ代々幡町幡々谷所在
天理教会堂ニ於テ爭議真相發表演説會開催ノ予定ニ
付注意中
右及申(通)報候也

別記

昭和四年七月十七日

株式会社 細井鐵工場
取締役 甲藤
支那人 大田柳太郎 通
殿

一、工場は遂に臨時休業として整理を致さねばならぬなりませぬ。

その次を請ふ共には包まず申さねばなりませぬ。諸君も大体は存知の通り工場が大信から借りて居る金は實に莫大巨額に上つて居るのであります。昨年久保

四共社長が突然なくなられた事は、大信銀行も整理を致さねばならぬやうに左

りしました。然し大信銀行を通じて日本銀行に担保として差入れがありました。左

ま不景氣になつてセリ、最重に整理を致さねばならぬやうに左

面へ寄り込んたセリ、代の圓収も勤社の餘波さうして可なり遠れることになりませぬ。

うして工場は月々欠損を重ねて非常に苦境に陥つて居るのであります。併しこの不景氣に工

場を閉めてしまふやうなことがあつては諸君に對しましては、誠に残念であります。

今月まで苦心を續けて来たのであります。左が遂に力及ばず、今日に至つたこと

は申訳のない次第であります。

就きましては、私事業務は当面の責任者として、先般来招く以事と心取せられ、換

り引責持統を申出されたいのであります。先般来招く以事と心取せられ、換

て居る水まき、斯様な次第であります。現業重役は、若し退任に就て、責任を